

☆ワイガヤ会 ☆ジョブフェスタ

■ 企画概要

【ワイガヤ会】一般求職者、現役学生を対象に、企業と求職者が本音で語り合い、就職活動への不安や今後のアクションなど、身近な社会人先輩からの話を聞き意見交換をする。

【ジョブフェスタ】企業が若者に自社の魅力を十分に伝え、若者も自己のセールスポイントを明確にするコミュニケーションを重視して実施する。

■対象：企業、求職者

- POINT -

企業と求職者共に普段着で本音で語り合う。

プレゼンテーションでは、企業ごとに車座でのディスカッション。

就職ミスマッチ、早期離職を未然に防ぎ、就職に躊躇している若者の背中を後押し。



- 背景・実施前の課題点 -

- ・若者；中小企業に対する理解不足、勉強不足。職場の雰囲気を知ることが少ない。
 - ・企業；企業の魅力発信ツールの不足。効果的な情報提供ができていない。
- ⇒ 若者と企業間でのギャップによる、県外流出・早期離職

- 企画実施の目的 -

- ・企業も若者も普段着でリラックスした雰囲気で行い、従来の面接形式を改め、企業ごとに車座になり小集団ディスカッション方式を取ることで、効果的に若者と企業のマッチングを行い、県外流出・早期離職を防ぐ。

- 今後の展開 -

- ・最終的な面接へ至る前の、いわゆる企業理解・仕事研究のコンセプトは重要である。このような手法にて若者と企業をマッチングさせることは非常に有効な手段であると認識しており、今後も地道に・定期的に・継続して機会創出に努めていく。

☆ワイガヤ会 ☆ジョブフェスタ

■ 企画詳細

【実施状況】

☆本音で語ろう ワイガヤ会

・一般求職者対象、現役学生対象(inキャンパス)に、企業と求職者が本音で語り合う場を創造する。

①一般求職者対象

様々な業種の県内企業を4社程選び、人事担当者からは自社の求める人材について、若手社員からは、自らの就職活動の体験談や就職後の社内体験を発表し、若者の良き相談相手となって頂く。

■日時:平成19年7月11日・9月13日

15:00~17:00

■参加企業:4社

■参加若者:約20名

②現役学生対象

上記のワイガヤ会の各学校版。参加学生は、就職活動が始まる3年生(短大では1年生)を対象に、学校側と協力連携し開催。学校側と協力連携し開催し、身近な社会人先輩からの話を聞き意見交換をする。学生の仕事や企業理解を深め、県内企業の情報発信と学生の就職活動支援を行った。

■実施例

日時:平成19年11月21日15:00~16:00

参加企業:3社

参加学生:200名

～ワイガヤ会受講者の意見～

- ・社員の方たちの貴重な話が聞け、自分のこれからについて深く考えさせられた。
- ・生の声を聞き、仕事のイメージができた。
- ・若手の社員さんの意見や考えていること、やってきたことなどが聞けてよかった。
- ・今やっている仕事のやりがいや動機などが理解できた。
- ・その職種を選んだ理由や、人間関係などいろいろ知れた。
- ・仕事でミスしても立ち直れる話は聞いて安心した。

～改善が必要な意見～

- ・イメージと違った。
- ・視点が新卒者向けのように感じた。
- ・もっと幅広い企業の方、年齢層が高くても良いと感じた。
- ・ようやくこれからと言う時の時間制限が残念であった。
- ・もっと会社のためな所を聞きたかった。

～参加学生から～

- ・就職活動や仕事のことなどが詳しいところまで聞けた。
- ・会社の雰囲気がよくわかった
- ・少人数だったので質問がしやすかった。
- ・合同企業説明会では聞きにくかったことを聞けた。
- ・就活の際に気をつけること、入社してから気をつけることを聞く事ができた。
- ・自分のイメージと話をきいて全然違ったので良かった。
- ・知らない企業を新しく知ることができた。
- ・人見知りの方でも営業はできることがわかった
- ・就活の不安を取り除くものだと思うのでいい機会だと思う。
- ～改善が必要な意見～
- ・少し時間が短かった。もっと交流を深めたかった。
- ・色々な業種・職種の方とお会いしてみたい。
- ・もう少し雰囲気が明るいとよかったです。

～参加企業から～

- ・一人一人、質問したところや学生の気持ちがあわかってよかった。
- ・学生の考え方や、悩まれている事など知ることができた。私自身、学生の頃を思い出したりできた。
- ・話す時間があっという間に過ぎました。カウンセラーの方がいらっしやっただけで話がしやすかった。

☆ワイガヤ会 ☆ジョブフェスタ

■ 企画詳細

【実施状況】

☆ジョブフェスタ2007(合同企業説明会)～もっと知ろう、福井の仕事と福井の会社～

学生及び若者が就職活動を始めにあたり“福井の企業を知る・学ぶ機会”として「ジョブフェスタ2007」を開催。基本的には企業と若者との合同就職説明会であるが、従来から行われているブース内でマンツーマンの面接を行う形式を改め、経営者または人事担当者と参加若者(学生)が車座となり、「企業が若者に自社の魅力を十分に伝え、若者も自己のセールスポイントを明確にする」コミュニケーションを重視した内容で展開した。また、採用活動の早期化に対応し、就職活動が本格化する前の10月に、企業研究・交流の機会として実施した。

■日時

平成19年10月24日 13:00～16:30

■参加企業

県内主要企業80社が出展

■参加若者(学生数)

578名

■服装

普段着

○企業も若者も普段着で車座になり、互いに本音を語り合う。

○プレゼンテーションコーナーでは、自社の製品やサービス内容を公開し、更に深く職場理解を深める。

<ジョブフェスタ2007開催模様>



<ジョブフェスタ2007意見交換会>

☆ジョブフェスタ2007意見交換会

■概要

企業と若者の新しいマッチング手法であるジョブフェスタの今後について、出展企業へ呼びかけ意見交換を行う。更なる発展へ向けて、企業視点からの意見を伺った。

■日時

平成19年11月12日 13:30～15:00

■参加者

15社17名



※説明会というよりも交流会をイメージした本ガイダンスについて、就職戦線開始前の企業理解の機会であるとのコンセプトが好評だった。ただ企業、若者共に理解具足の感も見受けられ、開催前の十分な説明の徹底が必要。

☆ワイガヤ会 ☆ジョブフェスタ

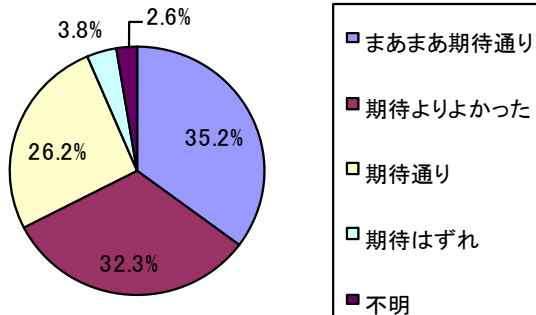
■ 企画詳細

【ジョブフェスタ アンケートより】

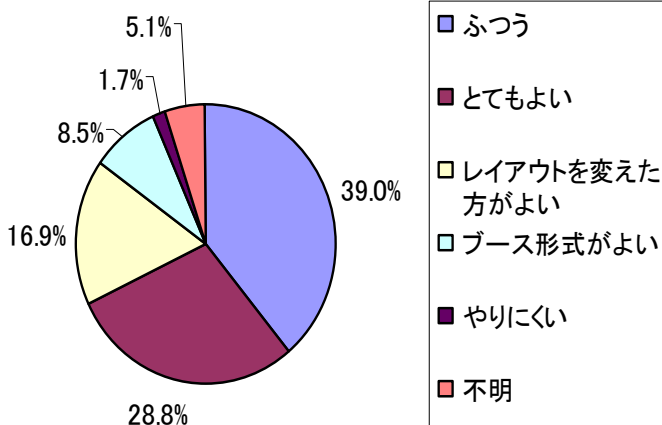
<若者アンケート>

<参加企業アンケート>

9. 期待した内容だったか



4. 交流会形式の説明会は



■ 企画ナレッジ・ノウハウ

- 他の地域で活用できるナレッジ・ノウハウ -

- ・従来の面接形式を改め、企業ごとに車座になり小集団ディスカッション方式を取ることで、効果的に若者と企業のマッチングを行い、県外流出・早期離職を防ぐ。
- ・若者、企業ともに普段着での交流により、気軽な意見交換を行えるようにする。

(担当者コメント) 企業・若者ともに、より一層の理解の促進を目的とした福井の手法は、ジョブカフェスタイルとして定着しております。入社(就職)前にいかに双方が納得する、できるかが今日の採用のあり方です。
 普段着による交流会形式は、これからの採用形態にマッチすると思います。
 是非福井以外の地域でも、試してください。

